

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンって？

「無縁社会」への警鐘を鳴らし、県民の皆さんと課題を共有して「支え合い社会」への一歩を踏み出すための取り組みとして、平成24(2012)年6月に、福祉・経済・労働など分野の異なる18の幹事団体が力を合わせてスタートしました。

キャンペーン推進協議会が中心となり、兵庫県内の団体・企業(推進団体)や県民の皆さんと共に、情報発信や広報、フォーラムの開催といった各種事業を展開しています。

キャンペーンの歩み～活動の広がり～

- 推進団体 284団体(平成30年8月1日現在)
 - 機関紙「ひょうごの福祉」特集記事の掲載(平成24年7月号～平成28年3月号)計33回
 - 総会・記念講演会、各種フォーラム等の参加者 約48,000人
 - 専用ホームページのアクセス数 約46,000件
- ※活動状況に関する記事は、コーナーを設けて現在まで毎号掲載

平成24年度

- 「推進協議会設立総会・記念講演会」を開催
- 「第6回全国校区・小地域福祉活動サミット」を開催(協賛)

広報・情報発信を開始

- 機関誌「ひょうごの福祉」にて特集記事、連載コーナーを掲載
- 専用ホームページ、facebook、Twitterによる発信啓発グッズの作成・配布を開始

啓発グッズの作成・配布を開始

- パンフレット、のぼり、うちわ、クリアファイル、PRパネル等

平成25年度

- 新たに幹事団体と市町社協が取り組む「地域フォーラム」(13団体)を開催
- 「ふれあいの祭典」に初出展
- 「ひょうご安全の日のつどい」に初出展

ふれあいの祭典で幅広い世代にPR!



平成26年度

- 新たに幹事団体による「推進フォーラム」(3団体)を開催



大人も子どもも一緒になってキャンペーンの取り組みを広げています

平成27年度

- 「支え合いのまちづくり推進フォーラム」を開催

家族、地域、職場のつながりを構築し、支え合う社会を目指す気運が高まりました



平成28年度

- コミュニティカフェ開設応援事業を開始
- 啓発パネルを作成 県福祉センターに設置



平成29年度～

- 「支え合いのまちづくり推進フォーラム」を開催
- 平成30(2018)年度からのテーマを決定

「地域での支え合いをすすめよう！」

地域での居場所づくり・交流・支え合い活動が着実に広がっています

小規模集落の支え合い

地区の課題を持ち寄り、前向きに話し合い、解決に向けて取り組んでいます。



子ども食堂

広がる「子ども食堂」。みんな一緒に集まり、つながっています。



権利擁護・成年後見

市民が学びを深め、権利擁護・成年後見の取り組みに参画しています。



居場所づくり

住民が運営するサロン。社協、社会福祉法人と連携しています。



集落福祉・社会参加

移動販売をきっかけに交流・見守りの輪が広がっています。障害のある人も参加し、つながりが生まれています。



広がる!ほっとかへんネット(社会福祉法人連絡協議会)

県内の社会福祉法人は、市区町域のネットワークを基盤に、地域の生活・福祉課題の解決に向けて専門職や拠点などの資源を生かし、住民や多様な主体と協働しながら支え合い活動を進めています。

たくさんの企業や団体から協賛・応援をいただいています(一例)

株式会社大正銀行
【のぼり】

大阪ガス株式会社
【エコバック】

シンエイテクノ株式会社
【靴の中敷き】

兵庫県遊技業組合
連合会青年部会
【啓発パネル】



大同生命保険株式会社・
AIG損害保険株式会社
【協賛金】